

- ・小学校⇒101～166
- ・中学校⇒201～232
- ・幼稚園⇒301

「学校版もったいない運動」 上半期の取組み状況について

令和6年11月13日

提出

行政番号 153

学 校 名 篠崎第五小学校

校 長 名 山田 勇一郎

担当者名 朽木 良美

1 光熱水使用量及びごみ排出量比較表(4月～9月)

(1) 小学校全体の使用量について

	使用量			
	3年度	6年度	目標値	目標達成状況
電気(kwh)	7,903,839	7,755,132	7,698,339	未達成
ガス(m ³)	534,196	591,552	512,828	未達成
水道(m ³)	236,121	214,610	236,121	達成
可燃ごみ(%)	946,880	844,670	757,504	未達成
不燃・資源ごみ	589,525	555,465	471,620	未達成
生ごみ(kg)	171,188	140,296	136,950	未達成

(2) 篠崎第五小学校の使用量について

	使用量			
	3年度	6年度	目標値	目標達成状況
電気(kwh)	120,214	110,345	117,088	達成
ガス(m ³)	4,350	4,204	4,176	未達成
水道(m ³)	4,384	4,237	4,384	達成
可燃ごみ(%)	13,230	10,150	10,584	達成
不燃・資源ごみ	8,260	9,030	6,608	未達成
生ごみ(kg)	1,237	1,203	990	未達成

※令和6年度の目標値は、江戸川区第6次環境行動計画に基づき以下の数値となります。

【令和3年度比】 電気:-2.6% ガス:-4% 水道:令和3年度以下 廃棄物:-20%

2 令和6年度上半期の取り組みの振り返り

上記の結果を確認していただき、目標値の達成・未達成理由や、削減につながった取り組み内容など詳細にご記入ください。

上半期、電気、水道、可燃ごみの3つの取り組みで目標を達成することができた。電気・水道については、資源を大切に使うことを促すため、電気を使う箇所には電気をこまめに消すことを呼び掛ける掲示を、水道を使う箇所には水を出しっぱなしにせずこまめにとめることを呼び掛ける掲示を行った。児童が注目できるように本校で飼育しているウサギをキャラクターにした掲示にした。また、日直を照明消し忘れのチェックをする担当としたり、管理職が校内を巡回した際に確認を行ったりしている。これらのことが削減につながった一因ではないかと考える。

ごみについては、分別の徹底を図るため掲示等を行い、児童や職員への啓発を行った。正しく分別することへの意識が少しずつ高まっており、可燃ごみを削減する要因になったのではないかと考える。一方、可燃ごみを資源ごみとして分別したことによって、資源ごみが大幅に増える結果となった。ごみ全体の総量を減らせるように考えていく必要がある。